

学校だより
平成 23 年
5 月 23 日

はるにれ

海老名市立
有馬小学校

色とりどりの花が咲き誇り、新緑にかこまれ春だけなわとなつてまいりました。

保護者、地域の皆様におかれましては、さわやかな季節の中で心地よい日々をお過ごしのことと思います。学校は、4月5日の着任式、始業式、入学式に始まった1学期も早いのもう一ヶ月半余りが過ぎました。教室や校庭などでの声も日増しに大きくなり、いつもの元気いっぱいな「有馬っ子」の本領発揮といったところでしょうか。遊びに、学習活動に、仲良く楽しそうに、時にはガンガンやりあいながらがんばっています。

また、PTAも4月28日に定期総会が無事終了し、本格的な活動が始まりました。役員さんを始め会員の皆様、そしてOB、地域の皆様、さらに元気な笑顔あふれる「有馬っ子」の成長に向けて、お力添えのほどどうぞよろしくをお願いいたします。

あいさつ運動特集

昨年度からスタートしました「市民総がかり」の取り組みである「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」の一環としての「あいさつ運動」ですが、本校においては「あいさつ名人になろう」をスローガンに「学校総がかり」で取り組みました。

4月から毎朝、昇降口においての「教職員によるおはようございます」に始まり、次いで児童会役員が中心となってそこに加わり、さらに各学級からの代表者が日替わりで参加するようになりました。また、出迎えの場所も、校門、昇降口内外へとすだいにひろがりを見せていきました。

出迎える側と、迎えられる側との両方の立場を経験することによって相互に意識化が図られ、とても活発な「おはようございます」が交わされるようになってきました。

本年度は、さらに『自ら進んで行く自然なあいさつから生まれるコミュニティのひろがり』をめざして、より一層積極的な取り組みをしていきたいと考えています。

これまでの取り組みに加えて、

具体的には、①あいさつの大切さや必要性を児童の内面に働きかける取り組みの充実。（授業等を通して）

②児童会を柱としたより積極的な取り組み。（あいさつ運動をさらにバージョンアップさせていくために自分たちができることは何だろう？を子ども達側からの発想で考えさせたり、標語の募集をしてその標語の入ったタスキを使ってのリレー形式の朝のあいさつ運動をする。また、「あいさつ名人」認定証の交付等、数々のアイデアが浮上しています。）

③保護者の皆様を始め、PTA組織や自治会をはじめ地域各種団体等のお力添えをいただき、家庭内や校外においての「あいさつ運動」の拡大・発展に努める。

・・等々です。

以上、今月の「学校便り はるにれ」は、本校『あいさつ運動』を中心に執筆させていただきました。

皆様のお力添えに寄るところが大きい取り組みのひとつであります。ご理解とともにご支援のほど重ねてお願い申し上げます。

